

児童発達支援センター ヒツジ 自己評価表

平成30年10月実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	○			定員20名に対し、185.4㎡の広さです。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	検討していきます。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			新人職員についてはチューター制度を導入しOJTを中心にPDCAサイクルに参画しています。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様へのアンケートを10月に実施致しました。施設の改善につなげています。
	⑥	事業者向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	○			社会福祉法人嬉泉のホームページで公開予定です。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現状として行えていません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部研修や外部研修に積極的に参加し職員の資質の向上に努めています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	今後、検討していきます。
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			利用児の利用状況等により個別指導を含む療育内容を定期的に話し合い実施しています。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか			○	利用児に活動や遊びを選べるよう提供していくようにしています。
⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか			○	個々に合わせ、課題や日課を設定し対応しています。	

	⑯	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員間での情報共有を図る為にミーティングを随時行っています。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			打ち合わせという形式ではなく、その日のグループの職員同士で日々の振り返りを行っています。また大事な案件については月1回の打ち合わせ時に情報共有をしています。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録をとり、見直し、振り返りを行っています。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議がある際は、児童発達支援管理責任者が参画しています。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えているか		○		主治医や医療機関との直接的なやり取りは、ありませんが、医療的ケアが必要なお子さんを受け入れる際は、親御さんを通して主治医の意見等を確認しています。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	㉕	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			就学前、市区町村の教育課と連携を取りながら、情報の提供等を行い、相互理解を図っています。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	日々の活動の中で他事業との交流機会を設けることは難しい為、行えていません。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎の引渡しの際にその日の活動内容や様子をお伝えするよう心がけています。
		㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	

保護者への説明責任等	③①	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用前は重要説明事項を用いて説明を行い、利用中に関しても、利用者から求めがあれば随時説明を行っています。
	③②	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			保護者からの相談に対しては、適切に対応し、可能な限り支援させて頂いています。
	③③	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	③④	父母の会の活動を支援したり、保護者会を主催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在、保護者会など実施していませんが、今後、保護者からの要望がございましたら、検討させて頂きます。
	③⑤	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか 苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			迅速な対応を心がけています。
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			法人機関誌「おたより」・「嬉泉新聞」、嬉泉福祉交流センター袖ヶ浦より発行される「うたのひ」を定期的に発行しています。
	③⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか				個人情報関係の書類は、必要な時以外は施錠して管理しています。また、個人情報の取り扱いについては守秘義務の一環として内部研修にて周知しています。
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配置をしているか	○			送迎時の申し伝えや必要であれば個別での電話連絡等を通じて、情報共有に努めています。
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			10月と3月に地域交流を目的とした行事(バザー等)を開催しています。
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			○	職員には十分に周知していますが、保護者への周知が不十分かと思われますので、今後、検討していきます。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			災害・火災を想定した避難訓練を毎月実施しており、非難経路の確認を行っています。定期的にマニュアルの変更・見直しもしています。
	④⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			利用前のアセスメント時に把握しています。
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			利用前のアセスメント時に把握しています。
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット等を事故防止委員会で分析し、支援に反映しています。
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止、人権擁護に関する職員研修を行い、職員の倫理観の向上に努めています。
	④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			そのような措置が必要と思われる利用者には、契約の際に保護者に説明をし、個別支援計画に記載することとします。